

新たな一歩を踏み出す時期

3月はこれまでの歩みを振り返り、次のステップに向けて気持ちを新たにする時期です。この1年で培った経験や学びを生かし、さらに成長できるよう、一日一日を大切に過ごしてください。挑戦する心を忘れず、それぞれの目標に向かって進んでいきましょう。皆さんの未来が実り多きものとなるよう、心から応援しています。



第9回 大震災を語り継ぐ北高生の集い

本校では、東日本大震災で犠牲となられた方々を悼み、震災の経験を語り継ぐことで風化を防ぎ、未来への教訓とすることを目的として、平成26年度より「大震災を語り継ぐ北高生の集い」を開催してきました(令和3・4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)。今年度は2月19日に、環境放射能学を専門とする尚絅学院大学総合人間科学系学校教育学類教授の齊藤 敬 氏を講師にお迎えし、「福島土壌調査プロジェクト」に関する講演をしていただきました。齊藤先生は、放射線の専門家として、土壌の汚染状況や、どの地域にどのような物質が拡散されたのかを調査した本プロジェクトの経緯や結果について詳しく説明されました。また、リスクとコミュニケーションの重要性についてもお話がありました。震災時のみならず、新型コロナウイルスの流行時にも見られたように、専門家が考えるリスクと一般市民が認識するリスクにはしばしば差が生じます。齊藤先生は、「皆さんも将来、何らかの分野の専門家となると思います。その際には、今日の講演の内容を思い出し、専門家として意見を一方的に押しつけるのではなく、一般市民の声にも耳を傾けながら、双方向で考えていくことが大切です」と生徒たちに語りかけました。



今回の講演を聞き、間違った情報をうのみにせず、放射能について正しく理解し、自分で判断することが大切だと感じた。風評被害に惑わされることなく、正確な情報を身につけることを意識していきたい。

また、電力には火力・水力・風力・原子力などさまざまな種類があり、私たちはその電力を時に無駄に消費してしまうことがある。この世界をより良い方向へと変えていくためにも、一人ひとりが節電を心がけることが重要だと考えた。

鈴木叶音(1年・村田第一中出身)

野球部が海岸林再生ボランティアに参加

3月2日、野球部が東日本大震災復興海岸防災林再生ボランティアに参加しました。この活動は、高野連が推進する「絆」プロジェクトの一環として行われ、今年度は野球部員17名に加え、PTA役員や野球部員の保護者も参加し、総勢27名で取り組みました。活動当日は、まず初めに、海岸にクロマツが植えられた経緯や、その役割についての説明がありました。海岸防災林は、津波や強風、塩害から地域を守る重要な役割を果たすと同時に、震災の記憶を後世に伝える象徴でもあります。私たちは、単に作業を行うのではなく、こうした背景や目的を理解した上で取り組むことの大切さを学びました。説明の後、参加者は手袋やのこぎりを手に取り、クロマツの本数調整伐作業を開始しました。成長過程で過密になった木々を適切に間引くことで、残ったクロマツが健全に育つ環境を整えることができます。参加者は慎重に1本ずつ確認しながら作業を進め、未来の防災林の姿を想像しながら汗を流しました。作業を通じて、生態系の保全や森林管理の重要性についても考えさせられる機会となりました。今回の活動は、野球部員にとって単なるボランティアではなく、地域社会とのつながりや震災復興の歩みを実感する貴重な機会となりました。また、PTA役員や保護者の方々とともに取り組んだことで、地域と学校、家庭の連携の大切さを改めて感じる事ができました。今後も野球部は、スポーツを通じた社会貢献活動に積極的に参加し、地域に根ざした活動を大切にしていきたいと考えています。



仙台防災未来フォーラム 2025に参加

3月8日に仙台国際センターで開催された「仙台防災未来フォーラム」において、海岸林再生プロジェクトに取り組むオイスカの吉田氏がステージ発表を行いました。この発表には、同プロジェクトにボランティアとして参加した野球部の生徒や、探究の時間」の一環としてフィールドワークを行った生徒、計5名が吉田氏とともに登壇しました。



私は野球部として海岸林再生のボランティア活動に参加しました。震災によって失われた海岸林を再生するために、多くの方々が高齢にわたり活動を続けています。私たちが取り組んだのは、クロマツの間伐作業です。間伐を行うことで、木々の成長を促進し、より強く健康な森を育てることができます。しかし、実際に作業をしてみると、その大変さを実感しました。成長した木は重く、切るのも運ぶのも非常に労力を要しました。野球部のメンバーでさえ、1日練習をした後のような疲労感を覚えるほどでした。

この貴重な体験を多くの人に伝えるため、私は仙台防災未来フォーラムで発表者として登壇しました。1年生3人と野球部の弟とともに、ボランティア活動での経験や感じたことを共有しました。

私の願いは、海岸林が地域の人々にとって頼れる存在となることです。現在、クロマツの重要性はあまり知られていませんが、オイスカの吉田さんは「この名取市から必ず成功させます」と力強く語っていました。その言葉を信じ、私も来年・再来年と引き続きボランティア活動に参加し、この取り組みに貢献していきたいと思っています。

石澤心菜(2年・名取第一中出身)

1、2年生進路ガイダンス 卒業生講話

3月17日、この春に卒業し、国公立・私立大学に合格した8名と公務員や民間企業への就職を決めた4名の合計12名の卒業生を講師として迎え、それぞれの経験をもとに、進路選択や受験勉強、高校生活についての貴重なお話をいただきました。



講話では、「いつ進路を決定したのか」「オススメの勉強方法」「高校生活で一番大変だったこと」「集中して勉強するために工夫したこと」など、実際に経験したからこそ語れるリアルな体験談が語られました。特に、「受験までどのような心構えを持つべきか」という点については、卒業生自身が苦労したことや成功の秘訣を交えながら、後輩たちに熱いメッセージを送っていました。参加した1・2年生は、卒業生の話を真剣な表情で聞きながら、自分の進路について改めて考える機会となったようです。「勉強のモチベーションが上がった」「先輩の話を聞いて、自分も頑張ろうと思った」「今からできることを始めたい」など、前向きな感想が多く寄せられました。



防犯抑止・交通安全キャンペーンに参加

2月19日、本校の交通安全委員が「防犯抑止・交通安全キャンペーン」に参加しました。このキャンペーンは、イオンモール名取にて、岩沼警察署・亶理警察署とともに実施され、来場者に向けた防犯・交通安全の啓発活動が行われました。本校の生徒たちは警察署の方々と協力しながら買い物に訪れた方々に防犯・交通安全対策を呼びかけるチラシや啓発グッズを配布しました。生徒たちは地域の安全を守ることの大切さを改めて実感したようでした。

名取市のイオンモール名取で、交流サイト(SNS)で流行を募る闇バイトや特異詐欺の被害防止を訴えるキャンペーンを実施した。委員をはじめ地元防犯協会や少年補導員協会のメンバー、名取北高の交通安全委員会に所属する生徒ら約30人が参加。「SNSでバイト選びは特に慎重



買物客に啓発グッズを渡す高校生(左)も注意を呼びかけた。名取北高1年の石川歩弥さん(16)は「チラシ配りを初めてしたが、受け取ってもらえて良かった。闇バイトはもちろん駄目だが、身近な悪い行動も減らせるといい」と話した。

闇バイトの危険
高校生らが啓発

に」と書かれたチラシやマスクなど500セットを買い物客に配った。道路交通法改正に伴う自転車の運転ルール変更など

2025年2月25日付
河北新報朝刊掲載

名北アカデミー「地域探究講座」 1年探究テーマ発表会・2年探究中間発表会を開催

3月21日1～4校時にかけて、総合的な探究の時間の一環として、各学年で今年度の探究活動の発表会を実施しました。1年生は、5分間のプレゼンテーションを行った後、「この探究を通して、どのような社会を作りたいか」「このテーマについて、世の中に何を伝えたいか」など、哲学的な問いかけをして、それについて意見を交わしました。2年生は、5分間のプレゼンテーションを行い、その後、自らの関心に基づいて他の発表を聴講し、質問を行いました。また、「名北アカデミー」サポート委員の方にもご参加いただき、発表に対して質問や助言をいただきました。さらに、生徒自身がファシリテーターやタイムキーパーとしての役割を担い、発表会を円滑に進める役割も果たしました。今回の発表会を通じて、生徒たちは自らの探究活動を深めるとともに、他者のテーマや探究活動に触れることで新たな視点を得る貴重な機会となりました。



今年度卒業生の主な進路先について (3月21日現在)

本校は開校以来46年目を迎えましたが、今年度、初めて東北大学へ現役合格者を輩出しました。これは本校にとって大変喜ばしいことであり、卒業生の努力の賜物です。また、今年度の卒業生もそれぞれの目標に向かい、多様な進路へと羽ばたいていきました。主な進路先を以下に紹介します。

国公立大学	県内私立大学	県外私立大学	公務員
東北大学 1名	東北学院大学 43名	日本大学 1名	国家公務員 1名
山形大学 3名	東北福祉大学 23名	獨協大学 1名	宮城県警 1名
宮城大学 2名	東北工業大学 11名	名城大学 1名	亶理地区消防職 1名
群馬県立女子大学 1名	東北文化学園大学 11名	日本体育大学 1名	民間就職 5名
都留文科大学 1名	宮城学院女子大学 10名	順天堂大学 1名	など
	尚絅学院大学 8名		

合格



おめでとう!

令和7年度始めの主な予定

4月8日(火)	8:35登校 9:00～新任式・始業式 13:30～入学式	11日(金)	新1年生課題テスト
9日(水)	身体測定(1,2校時) 対面式・部紹介(5~6校時)	14日(月)	新2,3年生普通授業 新1年生授業開始
10日(木)	新1年生オリエンテーション 新2,3年生普通授業	16日(水)	面談週間・5分短縮授業~25日 新1年生結核検診(午前)
			部活動登録
		18日(金)	新1年生結核検診

